

令和3年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

61 田園バレー事業

建設部 みどりの推進課

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

1

1 事業概要

◆事業名

田園バレー事業

◆事業の開始の背景、経緯等

平成25年度に改訂された長久手田園バレー基本計画に基づき、「農」の多様な役割を生かし「農のある暮らし・農のあるまち」の実現を目指すため。

2

2 事業の実施体制

◆組織体制、人員

みどりの推進課 9名

(内訳)

課長	1名	主幹	2名
農政係長	1名	係員	5名

3

3 事業目的等①

◆事業内容（どのような事業なのか）

食育推進、あぐりん村再整備等により「農のある暮らし・農のあるまち」の実現を目指す。

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

農に関わる市民

4

3 事業目的等②

◆事業意図（対象をどのような状態にしたいか）

多くの市民が農に親しみ、農とふれあいながら、自身の居場所や役割を見つけ幸福に暮らす。

◆事業を構成する事務事業【今後の方向性】

① あぐりん村再整備事業

② アグリサポートセンター事業

③ -

5

4 成果推移

◆成果指標（単位）

再整備施設数

◆指標の設定根拠

あぐりん村の再整備を行うことで、農業者の耕作意欲向上、生産者と消費者の交流の場創出、地産地消を促進するため。

◆数値目標の根拠

令和3年度の改修工事完了を目標とする。

6

5 これまでの振り返り

◆目標達成状況・分析コメント

再整備施設数については、令和2年度に増築棟新築が完了した。

◆活動エピソード

(株)長久手温泉を通じ、市・ござらっせの会の意見を聴取し、増築棟新築設計及び既存棟改修設計に反映させた。

◆改善ポイント

あぐりん村の売り場面積の不足や、天候不良による不作、鳥獣被害など様々な要因により、農業者の耕作意欲が減少している。

7

6 事業の今後

◆事業の今後の方向性

引き続き、あぐりん村再整備及び食育推進計画を進める。

◆事業の中長期の目標

あぐりん村の売り場充実等の再整備を行うことで、農業者の耕作意欲の向上に繋げる。

8

7 事業のまとめ

◆事業の課題など

あぐりん村再整備事業により農作物の耕作・出荷意欲が向上することを期待しており、今後それを耕作放棄地の減少や、担い手不足の解消につなげていくことが課題となってくる。

◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

特にございません。